



奥州市市制施行 20 周年記念 奥州市長杯 第 47 回 北上川大賞典 (M2)

水沢競馬場 3歳以上オープン・ダート 2500m

11月30日（日） 18：15発走

岩手競馬の最長距離重賞・北上川大賞典の創設は1978年。第2回以降は2500mが舞台でしたが、2022年、2023年は盛岡ダート2600mで実施。しかし昨年は再び2500mに戻り、4年ぶりに水沢を舞台に行われました。3連覇はボールドマックス、グレートホープ。そして2021年はエンパイアペガサスが圧勝。史上3頭目の偉業を達成しました。また2連覇はスリーパレード、トウケイニセイ、モリユウプリンス、メイセイオペラ、グローバルゴッドの5頭。昨年はサクラトップキッドが史上初の3歳馬優勝を果たしました。

【注目馬情報】

★リケアカブチーノ 牡3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

8戦5勝2着3回の成績で高知から転入。2戦目の東北優駿を圧勝し、続いて岩手古馬の最高峰・一條記念みちの大賞典へ挑戦。ヒロシクンとの壮絶な叩き合いの末、ハナ差先着。史上初の3歳馬の優勝を果たしました。Jpn II・不來方賞はナルカミの6着でしたが、地元3歳・トペーズカップを貴祿勝ち。前走は金沢・北國王冠へ遠征し、全国の強豪相手に3着を確保しました。水沢2500mは望むところ。重賞4勝目に王手をかけました。

★サクラトップキッド 牡4歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

今シーズンは未勝利ですが、Jpn III・マーキュリーカップ4着など中身は非常に濃いもの。2戦連続で金沢へ遠征して白山大賞典7着。北國王冠6着でしたが、早めスパートをかけたところ後続も素早く反応。厳しい競馬を強いられましたが、6着に踏ん張りました。典型的なステイヤーが北上川大賞典2連覇へまい進します。

★ライアン 牝6歳 佐藤浩一きゅう舎・水沢

昨年は芝からダート変更の交流・せきれい賞、ファン投票・桐花賞と重賞2勝。両レースとも不良馬場が舞台でした。今季はA級特別2勝にとどまっていますが、軽い走路になれば持てる能力をフルに発揮します。

★フレイムウィングス セン8歳 酒井仁きゅう舎・水沢

中央ダート2勝、南関東B1級から2023年に転入。北上川大賞典、桐花賞2着など大舞台で好走しました。今年は岩手未勝利を脱出して2勝マーク。いい脚を長く使えるタイプで長距離戦は大歓迎です。

★レライタム セン4歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

大井デビューで未勝利が続きましたが、6月に去勢。その効果が絶大で3勝マーク。岩手でも3勝2着1回3着1回の好成績。転入前に大井2000mを快勝し、2500mで一発を狙っています。

★レールガン 牡8歳 佐藤浩一きゅう舎・水沢

4年連続で北上川大賞典へ挑戦して2着1回3着2回。スロースターターですが、行き脚がついてからの伸びがシャープ。前走もタイム差なし2着にまとめ、上昇ムードに乗って5度目の北上川大賞典へ臨みます。

文／松尾 康司